

普及活動情勢報告（平成26年9月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

研修受入農家と研修生、新規就農者の意見交換会を開催



8月27日、J A高知春野主催で、「研修受入農家と新規就農者の意見交換会」が開催されました。

この会は新規就農者の確保育成の取り組みに意見を反映させる目的で実施され、研修受入農家や研修生、新規就農者、各関係機関の33名が参加しました。

普及所は開催内容の提案や会の進行、記録などで協力し、J A長岡の先進事例やJ A高知春野の取り組みの現状の説明後、意見交換を行いました。その中で、就農ハウスの確保と方法、研修受入農家への支援、研修生が地域へ溶け込むための提案や意見が出され、とても有意義な会になりました。

今後は、出された意見が取り組みに反映されるように関係機関と協議していきます。

高知市三里で勉強会（土壌分析結果検討会）を開催



8月28日、三里で園芸部・青壮年部合同の土壌分析結果の検討を主とした勉強会を開催しました。

全農からは、分析結果に基づいたグロリオサの連作土壌の改良方法について提案があり、普及所は、連作土壌で作りにくくなった土壌で、生育と球根の太りを改善するための試験内容を説明しました。生産者からは、連作障害や球根予措の環境について沢山の意見や質問が出され、有意義な情報交換ができました。

普及所は、今後も引き続き現場と連携して課題解決のための試験を実施し、結果を部会で報告していきます。

地域の課題解決のために！J A出資型法人「株式会社南国スタイル」を視察



J A高知春野では、担い手確保や耕作放棄地対策を検討しており、その一環として、9月9日、J A関係者と普及所の6名で、南国市にあるJ A南国市出資農業生産法人「株式会社南国スタイル」を視察しました。

この法人はJ A南国市の出資により地域営農の維持拡大を目的に設立されており、普及所は視察の調整を行うとともに同行調査しました。社長や専務から事業内容や運営、課題等について説明があり、参加者からも活発に質問が出されるなど、今後春野町でどう取り組むかを考える良い機会になりました。

普及所では、これからも地域の課題解決のため、関係機関と連携しながら取り組みを支援していきます。

高知市針木の新高梨出荷目慣らし会



高知市針木で新高梨の出荷目慣らし会が9月22日に行われ、生産者、市場関係、各関係機関、報道陣等約100名が参加しました。

普及所は、出荷時期を決定するために、生産者やJAと一緒に、午前中は農家から持ち込まれた新高ナシの果実分析を行い、午後は食味検査を行いました。今年は、台風や大雨と天候には恵まれませでしたが、品質もまずまずの出来で、出荷は9月27日に決定しました。

普及所では、今後も針木の新高梨のブランドを維持、向上するために生産組合を支援していきます。